事例No.	2402
公表年度	R5
団体の属性	中核市
団体名	高知県高知市

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・少子化・人口減少

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

鏡川流域関係人口創出事業

出典

総務省ホームページ

鏡川流域関係人口創出事業（高知県高知市）

R4.11時点

【事業背景】

〇市内の過疎地域は、高知市の市民憲章に謳う「清潔なまちのシンボル」である鏡川の上流域にあたり、鏡川の下流域にあたる市街地へのアクセスが比較的容易。
〇人口減少、高齢化が進み、林業、農業といった生業の衰退や森林等の自然資本の荒廃が課題。

【事業実施主体】高知市
【R3交付金活用額】19,941千円

【取組内容】

【令和3年度実施した事業】

①流域内関係人口の創出

高知市民を対象にした，流域の自然を生かした多様な関わり方（お手伝い，ボランティア，プロジェクト，起業，消費活動等）を実行できる人材を育成するための講座を開催

②流域外関係人口の創出

大都市圏をはじめとする高知市外の住民を対象に，流域への多様な関わり方を考え，実行できる人材を育成するための講座を開催

③流域内・外関係人口の拡大

Webを活用した流域関係人口のプロモーション活動を実施

④ネットワークインフラの構築

鏡川流域における「自然と人」「人と人」の多様な関わりとつながりを可視化し，つながりの循環を促進させるための電子地域ポイントシステム（※）の活用

※電子地域ポイントシステムとして，スマートフォンによるQRコードを介したポイント交換機能，地域の活動にユーザーが参加することでポイントを獲得できる機能及びユーザーがポイントを使用して地域独自のサービスを受けることができる機能を備えたアプリを活用。



【チケットの例】



【成果（令和3年度）】

〇人材育成講座（①②合計）に45名が受講し、講座終了後も、受講生と地域とのつながりや流域内外の受講生同士のつながりが継続。
〇令和4年3月に電子地域ポイントシステムを本格運用し、鏡川流域に関心を寄せる体験や資源を活用する体験をポイント付与対象として作成し、過疎地域へ関心を寄せるきっかけを創出。

【令和4年度実施予定の取組】

〇引き続き、人材育成講座やプロモーション活動を実施。
〇電子地域ポイントシステムを活用し、市内過疎地域の関係人口を創出・拡大する。